



かわら版



- 鼓動 バランスのとれた成長をめざして 1
石川県スポーツ少年団 副本部長 川村 正美
- 青少年ボランティア賞表彰式 2
- 健民運動ふるさとづくり表彰式 6
- 第46回太陽と緑に親しむ健民祭（続報） 9
- 子どもの夢実現サポート事業 11
- 未来のふるさとづくり応援事業 12
- 健民運動活動紹介・健民運動カレンダー 13
- 薫風 「初めてのバードウォッチング」にようこそ！ 15
日本野鳥の会石川 代表 中村 正男
- 「あいむ」だより 16

毎月7日は「健康の日」です。

～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～

鼓動

石川県スポーツ少年団
副本部長 川村 正美

バランスのとれた成長をめざして

石川県スポーツ少年団では、毎年4月上旬に県内すべての市町から約1200名の団員・指導者の参加のもと、石川県スポーツ少年団総合開会式を開催しています。2019年も「いしかわ総合スポーツセンター」で、10回目の開会式を行いました。今年も例年どおり、たくさんの参加がありました。



毎回、開会式の後に「運動適性テスト」を行っており、昨年からは、日本スポーツ少年団が新しく導入する種目を取り入れて実施しています。



当日の種目は腕立て伏せ、50m走、立ち幅跳び、立ち三段跳びの4種目です。この他にも時間往復走、ボール投げがあるのですが、会場や人数・時間の関係で、現在はこの4種目にしています。

日本スポーツ少年団が新しく取り入れようとしているのが、動きの「量」に加えて、動きの「質」も評価していこうということです。つまり、「どれだけ」に加え、「どのように」に注目するのです。例えば、腕立て伏せでは腕の力だけでなく、腹筋や背筋など、50m走では、前傾姿勢や腕



の振り・脚の上げ方など、また、ボール投げでは身体全体の動きやボールを離す位置など、一人ひとりをより細かく観察していこうということです。

指導者が、子ども一人ひとりのどこが優れていて、どこが改善点なのかを把握して指導に生かすことがこれから大切になってくると思います。子どもにとっても、自分の良いところ・直すべきところがはっきりすることで意識して運動に取り組むことができ、バランスのとれた身体の動きにつながると思います。

◇令和元年度青少年ボランティア賞表彰式

11月19日（火）に県庁行政庁舎特別会議室で、令和元年度「青少年ボランティア賞」の表彰式が行われました。今年度は7団体と2個人が受賞され、当日は本部長の谷本正憲県知事が表彰状を授与しました。

表彰された団体・個人の活動内容は、交通安全を呼び掛けるメッセージカードを作成してドライバーに手渡す交通安全活動やさつまいもの苗植えから水やり、収穫までを一手に手掛けて、作ったスイーツを高齢者に贈る活動、地域の幅広い年齢層の人たちと音楽を通して交流する活動、相撲の全校応援を発展させて地域文化の保存や高齢者を応援する活動、福祉施設への協力や清掃活動による環境美化、子ども会行事やスポーツ少年団行事の企画・運営を支援する活動など、地域や学校において他の模範となる素晴らしい活動でした。

表彰式では谷本県知事から受賞団体・個人へ「尽くして求めずの精神は地域をよくする」と感謝と敬意の言葉がありました。また、受賞者を代表して、輪島市立鶴巣小学校の児童が活動内容と今後の抱負を発表しました。

平成7年度から始まったこの賞では、今回までに延べ204団体、50個人が表彰されました。人と人との絆が深まり、お互いが支え合う思いやりのある豊かな社会を築き上げるためにも、地道に社会に貢献する青少年ボランティアによるふれあいの輪の一層の広がりが期待されています。



【受賞関係者、本部長、選考委員の皆さん】

【受賞者代表の言葉】

☆輪島市立鶴巣小学校 6年 立野一樹さんと齊藤大翔さん

本日はぼくたち9つの団体と個人を表彰していただき、ありがとうございます。谷本県知事様からおほめの言葉をかけていただき、とてもうれしく思っています。受賞者を代表して、お礼申し上げます。

僕たちの学校では、毎年交通安全キャンペーンとして、折り鶴と手書きのメッセージカードをドライバーに配っています。高学年は、「シートベルトをしめてね」とか、「スピードを出し過ぎないでね」など書いたメッセージカードを作り、それを低学年が公民館前でドライバーに手渡します。「安全運転をお願いします。」と呼びかけて渡すと、ドライバーの方はとてもうれしそうに「ありがとう。」と答えてくれます。中には、「握手しよう。」と言ってくれる人もいます。1年生は「ありがとうと言ってもらって、うれしかった。」と感想を言っていました。

介護老人保健施設「百寿苑」のお年寄りの方と交流もしています。10月の初めには百寿苑の方が鶴巣小学校に来て、車椅子のお年寄りもできるゲームをいっしょにしました。お年寄りの人たちはとても楽しそうでした。「ふるさと」の歌を僕たちが歌ったら、泣いている人もいました。

僕は「百才までも長生きしてほしいな。」と思いました。

このほかにも、昭和57年から続いているあじさい祭りという行事にお年寄りにはがきを書いて招待したり、敬老会には劇をして見てもらったりしています。

これからも、今日、表彰を受けた中学生や高校生、社会人の先輩方のような活動ができるよう一生懸命勉強し、地域を明るく元気にしていきたいと思えます。本日は、本当にありがとうございました。



【受賞された団体・個人の活動】

○輪島市立鶴巣小学校

鶴巣小学校では毎年、秋の全国交通安全運動に合わせて、地元警察署と協力して低学年の児童が「安全運転をお願いします」と呼びかけながら、高学年の児童が作った手書きのメッセージカードと折り鶴をドライバーに手渡す取組を続けている。また、地元公民館主催の敬老会にも毎年、低学年の児童が参加して、学校で練習した劇を高齢者の方々に披露し喜ばれている。この他、介護老人保健施設の高齢者との交流活動や学校行事「あじさい祭り」に地域の方々を招待して伝統芸能の「高洲太鼓」を披露するなど、地域づくりや交通安全に大きく貢献している。



○穴水町立穴水中学校生徒会

穴水中学校では毎年、全校生徒が駅や商店街、通学路、部活動で使用している施設周辺等の清掃活動に取り組んでいる。生徒たちはこの活動を通して、行き交う人たちに大きな声で挨拶をしたり、「ご苦労さま」と声をかけられたりするなど、明るい社会づくりにも一役買っている。また、家庭から出る牛乳パックやプルタブを全校で集め、毎年、地域の障害者福祉施設に提供して、施設の活動資金等に役立ててもらっている。この他、赤い羽根等の共同募金では街頭での募金活動を年6回行うなど、地域の環境保全や地域づくり、福祉に大きく貢献している。



○石川県立金沢伏見高等学校吹奏楽部

金沢伏見高校吹奏楽部では毎年、地域の様々な施設を訪問したり、行事に参加して演奏会を行っている。高齢者介護施設や幼稚園、児童館、公民館などに出向いて、演奏だけでなく、クイズやリズム遊び、劇などを取り入れながら、幅広い年齢層の人々と交流を行っている。幼稚園児や小学生との交流では、簡単な演奏や歌遊び、劇なども交えながらミニ演奏会を行っている。公民館の文化まつりでは、幅広い年齢層の方に楽しんでもらえるように工夫した演奏や出し物は、地域の人たちにたいへん喜ばれており、地域づくりや福祉に大きく貢献している。



○金沢市立工業高等学校

金沢市立工業高校では平成3年から毎年、5月に開催される全国高校相撲金沢大会の全校応援を続けている。この応援は自校の応援だけでなく、県内外から参加している他校選手へのエールも含めて、大会全体を盛り上げている。各クラスの有志で構成された約300人（全校生徒715人）の応援委員は、部活動の応援だけでなく、国民体育大会石川県選手団結団壮行式・激励会に出演したり、地元公民館主催の敬老会では、高齢者の階段での上り下りをサポートしたりするなど、相撲大会での献身的応援活動の他、地域文化や地域づくりに大きく貢献している。



○石川県立輪島高等学校JRC部

輪島高校JRC部では、主に市役所や社会福祉協議会からの要請に応じて、開催されるイベントのスタッフとして参加しているが、唯一、生徒発信で取り組んでいる活動が、平成18年から続けている、部員が自分たちの手でさつまいもを育て、収穫したさつまいもで作ったスイーツを市内の高齢者施設に届ける活動である。これまでの活動が少しずつ地域の方々にも認知され、今年度からは施設からの要望で高齢者の方々との月1回の交流が始まっている。独自性があり、地域に根差した活動は、福祉や地域づくりに大きく貢献している。



○石川県立加賀高等学校

加賀高校では平成22年に「加賀高お掃除隊」を発足させ、最寄りの動橋駅周辺の清掃活動を定期的に行ってきた。また、地域の福祉施設や公民館での敬老会等の行事には年間10回以上、和太鼓部や合唱部などの部活動単位や有志が集まって参加し、演奏会の他、高齢者の方々との交流活動に取り組んできた。今年度はこれまでの活動を継承・発展させる形で全校生徒が加入するキャリアアップ部を発足させ、動橋駅周辺の清掃活動を毎月1回、30名程度の生徒が参加して行っている。近隣小学校との交流活動も含めて、地域づくりや福祉、環境保全に大きく貢献している。



○石川県立翠星高等学校JRC部

翠星高校JRC部では、青少年赤十字の「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」の3つの活動方針に基づき活動している。近隣の学童クラブを週2～3回訪問して、児童の遊び相手や勉強のお手伝い、指導員の業務補助等を行っている。特別養護老人ホームの訪問では、高齢者に対してのハンドマッサージや傾聴、車椅子の手入れ等を行っている。また、救急法の練習に取り組み、イベントでは救急対応の補助を行っている。この他、街頭に立って赤い羽根などの募金活動にも取り組むなど、地域づくり、福祉、保健・医療に大きく貢献している。



○新谷 英恵（金沢市子ども会連合会シニア委員会）

中学生の時に金沢市子ども会連合会少年委員表彰、高校生の時にはリーダー委員表彰を受賞している。大学生や社会人になってからもボランティア精神を発揮し、平成20年から11年以上、シニア委員を務めている。月1回の定例会をはじめ、リーダー育成を目的とした『かなざわっこ研修』、小学生高学年を対象とした『わくわくフェスティバル』等の運営や進行、補助等で活躍している。仕事と両立しながら常に前向きに取り組む姿は、子どもたちや他のシニア委員の模範となっており、教育、地域文化、地域づくりに大きく貢献している。



○阿慈地 翔平（石川県スポーツ少年団リーダー会）

小学生の時から地元スポーツ少年団に登録し、各種活動に参加してきた。高校生からリーダー会に所属し、平成24年から4年間リーダー会の会長としてリーダーをまとめ、スポーツ少年団の各種事業でボランティアとして活躍してきた。その後、リーダーの指導者として、現在も後輩に対して指導・助言を行っている。毎年4月に開催される県スポーツ少年団総合開会式では企画・運営等を行っている。仕事と両立しながらリーダー会に取り組む姿勢は、少年団員や他のリーダーの模範となっており、教育、地域文化、地域づくりに大きく貢献している。



◇ 令和元年度健民運動ふるさとづくり表彰式

令和元年11月17日（日）、県庁行政庁舎19階展望ロビーにて午前11時から「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」と「『家庭の日』川柳コンクール」の表彰式を行いました。会場の19階には表彰式前から大勢の人が集まり、11月13日から展示されている今回のツバメや川柳の受賞作品の前には、足を止めて作品に見入る人の姿が見られました。



【開会挨拶 青木美紀事務局長】

○ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」では、ツバメ調査に関する写真やツバメ新聞などの「記録・観察作品」、調査を通して心に残ったことや理解したことを記した「感想文」、そして、ツバメの巣がある家屋に貼り付けて、来年度以降の調査の目印とする「ツバメのお宿シール」の原画を募集しました。ご協力をいただいた学校の皆さん、ありがとうございました。



【ふるさとのツバメ総調査作品コンクール入賞者の皆さん】

☆記録・観察作品の部

最優秀賞	珠洲市立蛸島小学校	ツバメ調査をまとめた冊子
優秀賞	小松市立東陵小学校	ツバメ調査のポスターとツバメ新聞
優秀賞	能登町立松波小学校	ツバメ新聞
佳作	小松市立日末小学校	ツバメ新聞
佳作	加賀市立山代小学校	ツバメ調査のポスターとツバメ新聞

☆感想文の部

最優秀賞	珠洲市立蛸島小学校	6年	櫻田 麻優子
優秀賞	珠洲市立蛸島小学校	6年	寺田 琴乃
優秀賞	加賀市立山代小学校	6年	嶋田 琴水
優秀賞	内灘町立鶴ヶ丘小学校	6年	根布長 咲希
佳作	珠洲市立蛸島小学校	5年	番匠 泰雅
佳作	内灘町立鶴ヶ丘小学校	6年	橋本 彩乃

☆感想文の部

最優秀賞

【珠洲市立蛸島小学校 6年 櫻田 麻優子さんの感想文】
「ツバメ調査」

私はツバメ調査で、2つの発見がありました。

1つ目はツバメについての発見です。

私が調べた地域では、去年、ツバメが来た家に、今年もツバメが来ていました。その理由は、そこがツバメにとって住みやすい環境だからだと思いました。軒下や車庫は、出入りしやすく、人間が近くにいる、危険から守ってもらえる場所だと思います。

今年、ツバメについておどろいたことがあります。一軒一軒回って話をきくと、「ツバメを歓迎する人」と「歓迎しない人」が半々だったことです。去年は、「歓迎する人」ばかりだったのになぜ？と思いました。歓迎しない理由を聞くと、「ツバメの巣をねらって、カラスやヘビが車庫や家に入ってくるから。」ということだったので、納得しました。ツバメはいいけど、ヘビが入ってきたら、いやだなと思いました。

2つ目は、蛸島町についての発見です。自分の家の近くやその周辺を調べたとき、「こんな所に家があったんだ。」とか「この道は、あの道につながっていたんだ。」とか、新しい発見がたくさんありました。ずっと住んでいるのに、知らないことがたくさんあったことに気がつきました。地域の方は、みんなやさしく「ご苦労さん。」「暑いね。」「大変だけどがんばって。」等、声をかけてくれました。蛸島町の方のやさしさを再認識した一日になりました。

このように、私はツバメ調査で多くの発見があり、たくさんを知ることができました。ツバメ学習会で、ツバメには80種類もの種類があることが分かったので、もっとツバメについて調べてみたいと思いました。そして、たくさんツバメが来る、ツバメの住みやすい蛸島町になるといいなと思いました。

☆ツバメのお宿シールの部

最優秀賞	輪島市立河井小学校 6年	岡垣 花歩
優秀賞	珠洲市立正院小学校 5年	谷内前 雛菜
佳作	小松市立第一小学校 6年	宮田 景平
佳作	加賀市立山代小学校 6年	西 倶麗羽
佳作	加賀市立山中小学校 6年	奥村 音葉
佳作	羽咋市立羽咋小学校 6年	澗口 奈央
佳作	中能登町立鳥屋小学校 6年	岡峰 尚歳

お宿主様



小学校のツバメ調査隊です。ツバメの継続観察に役立ちますので、ご理解いただければ、見やすい所に貼ってください。

○「家庭の日」川柳コンクール

「『家庭の日』川柳コンクール」は、毎月第3日曜日の「家庭の日」の理解と普及を図るため、家族をテーマとした川柳作品を募集したものです。今回は2,563人から応募があり、選考委員会を経て小学生の部、中学生の部、一般の部から各入賞作品が決定しました。



【家庭の日 川柳コンクール入賞者の皆さん】

【小学生の部】

◎最優秀賞

おかたづけ ままのばくだん 5びょうまえ

加賀市立山代小学校1年 高久 葵

○優秀賞

ありがとう それが家族の あい言葉

加賀市立山代小学校6年 永井 悠嗣

家族の輪

やさしくつむ おもいやり 田端 杏菜

☆佳作

ふりむけば 家族の笑顔 ぼくのパワー

小松市立中海小学校6年 伊島 竜之介

この気持ち 伝えるときぞ 母の日や

小松市立苗代小学校4年 高木 大地

家族の輪

とぎれはしない 太い線

金沢市立浅野町小学校5年 新家 大空

がんばれと

ラインではげます 遠い父 堀岡 由奈

金沢市立医王山小学校5年

お手つだい

親をえがおに するまほう 木谷 結亜

金沢市立馬場小学校4年

◎最優秀賞

久しぶり 姉の帰郷に 跳ねる父

宝達志水町立宝達中学校3年

○優秀賞

「ごはんだよ」 その一言で 皆集う

小松市立丸内中学校1年 鶴飼 杏詩

☆佳作

見なくても 誰だかわかる 母の声

金沢市立泉中学校2年 亀ヶ谷 真由

☆佳作

夏休み 感謝を込めて お手伝い

加賀市立橋立中学校3年 中島 鼓弓

大切な 家宝の一つ それは声

小松市立丸内中学校1年 小辻 桃果

家族みな 笑顔という名の 花が咲く

宝達志水町立宝達中学校3年 西 あいり

ぬくもりと 笑顔がかこむ 家族の輪

金沢市立泉中学校2年 重野 七海

将来は 父の背中を 追いかける

金沢市立泉中学校2年 山本 絵利子

【一般の部】

◎最優秀賞

ペットには 優しいのにな お母さん

金沢市 佐々木 ひなた

○優秀賞

家族には あまり言えない 恋事情

輪島市 堤井 瞭太

ご飯冷め それでもまだかと 父を待つ

金沢市 谷 駿太

☆佳作

妹に バトンをたくす 姉の義務

輪島市 伊藤 ありす

父が干し 母が取り込む 僕の服

輪島市 戸部 孝亮

あと一個 だけど私は ゆずらなきや

七尾市 岸本 七海

お弁当 力に変わる 母の愛

七尾市 関口 雛里

蝉時雨 家族で歩く 墓参り

七尾市 吉田 眞子

なんでだろう なにかあったと

野々市市 高島 妃音

笑い顔 家族皆んなの 常備薬

かほく市 竹内 勝利

◇第46回太陽と緑に親しむ健民祭（続報）

令和元年8月31日（土）から10月20日（日）の間、途中台風17号と19号の県内接近により、総合開会式等が中止、若しくは延期となりましたが、10月20日の中能登町で開催された健民祭歩こう大会を最終イベントとして無事終了いたしました。

健民祭は太陽をいっぱい受け、緑豊かな自然の中で誰でも自由に参加できる各種大会等を開催し、県民の健康体力づくりを図るもので、今年度は期間中に約4,000人が参加し、各種目でスポーツやレクリエーションの楽しさを味わいました。

期日	大会名	参加者数	会場
8月31日～ 9月16日	石川県スポーツ少年団 サッカー交流大会	681	内灘町サッカー競技場他
9月16日	マラソンに挑戦する会2019	782	西部緑地公園 陸上競技場
9月23日	健民祭総合開会式	荒天のため 中止	西部緑地公園 陸上競技場 同 上 同 上 補助競技場 投てき場
	健民ゲートボール大会		
	健民グラウンド・ゴルフ大会		
	健民ペタンク大会		
	健民マレットゴルフ大会		
9月25日	リズムダンス講習会	250	小松市民センター
9月29日	ニュースポーツふれあい体験	94	いしかわ子ども交流センター
10月6日	健民野球大会	250	石川県立野球場
10月10日	石川県健康クラブ交歓大会	1,710	いしかわ総合スポーツセンター
10月14日	おはようサイクリング石川健民大会	55	大豆田大橋上流広場発着 (台風のため、14日に実施)
	健民オリエンテーリング大会	51	石川県森林公園
10月20日	健民歩こう大会(健民祭ウォーク)	150	中能登町(カルチャーセンター飛翔)
参加者合計		4,023人	

○おはようサイクリング石川健民大会

台風19号接近のため、10月13日（日）を延期して14日（月・祝）に開催されました。55人の参加者は思い思いの愛車で大豆田大橋上流広場に集合し、中には出発前に大会スタッフに自転車の点検・修理を依頼している参加者の姿も見られました。降雨が予想されたため、開会式後は時間を早めて出発しました。犀川緑地公園のサイクリングロードから金沢港公園へ向かい、ここで昼食と「安全教室」の予定でしたが、ここ



【開会挨拶（南理事長）】



【五郎島町での芋掘りの様子】

は休憩のみで直ちに五郎島町での芋掘りに向かいました。現地では小雨模様となりましたが、参加者の多くは雨具を着用して五郎島金時の広大な畑で老若男女が芋掘りを楽しみました。収穫を終えた頃には雨足も弱まり、参加者は収穫物で重くなったペダルを漕いで家路に就きました。

○健民オリエンテーリング大会

10月14日（月・祝）に、石川県森林公園インフォメーションセンターを起点にして、51人の競技参加者が得点を競い合いました。成績は次のとおりです。

【成績】

男子A優勝	廣部	達哉	
男子B優勝	円井	基史	
女子A優勝	山崎	弥生	
女子B優勝	植木	典子	
初心者優勝	羽根	颯人	
一般組優勝	森	美智子	組
家族組優勝	円井	彰梧	組



【スタート直後の様子】

○健民歩こう大会（健民祭ウォーク）

10月20日（日）、県内各地のウォーキング愛好者150人が中能登町カルチャーセンター飛翔に集まりました。これまで、総合開会式に合わせて西部緑地公園陸上競技場を発着とするコースで開催してきましたが、今年度は初めて中能登町で開催されました。実施に向けた準備等は、今年で設立15周年を迎えた地元の「中能登町歩くmy会」の皆さんが尽力してくださいました。「中能登町歩くmy会」は、毎週1回の定例会の他、他の地区との合同ウォーキングなどにも参加しており、年間約60回以上のウォーキングを楽しんでいるとのことでした。

開会式では、小坂進県歩こう会連絡協議会長の挨拶に続いて、廣瀬康雄副町長の歓迎の言葉を頂戴し、最後に全員で準備体操をした後、参加者は出発しました。



【開会式で整列した参加者の皆さん】



【飛翔前を出発する参加者たち】

◇子どもの夢実現サポート事業

○川尻ぼんぼり祭り

日時：令和元年8月24日（土） 場所：国登録有形文化財「奥野家」（津幡町川尻）

実行委員会名：川尻子ども会（津幡町）

「夢」 自分たちが手書きで描いた挿絵を貼ってぼんぼりを作り、かつてのように地元のお祭りで会場を灯して、地域の皆さんに見てもらいたい。



○子どもたちの憩いの場となるウッドデッキ

日時：令和元年11月3日（日・祝） 場所：小松市立中海小学校

実行委員会名：中海小ウッドデッキ実行委員会（小松市）

「夢」 学校の敷地内で自然の豊かさを感じられて、自分たちの憩いの場となるウッドデッキを作りたい。



◇未来のふるさとづくり応援事業

秋祭り獅子舞と踊りと太鼓の夕べ（泉町青年部・金沢市）

町内の秋祭りに行われていた盆踊りがマンネリ化して参加者が減少してきたため、1998年から青年部が主体となって和太鼓を練習し、新入部員が秋祭りに披露してきました。また、2014年からは、従来10年に一度行われてきた獅子舞の町内巡行を毎年実施して、現在の「秋祭り獅子舞と踊りと太鼓の夕べ」に至っています。

その結果、獅子舞や踊りや太鼓の練習などを通して、普段話す機会の少ない住民同士のコミュニケーションや世代間の交流がたいへん活性化しました。



◇健民運動活動紹介

令和元年度「子供・若者育成支援のための地域連携推進事業（中央研修大会）」

内閣府主催の中央研修大会が、11月25日・26日の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで、「ひきこもり調査結果から読み解くもの」をメインテーマにして開催され、健民運動推進本部関係者からは事務局から1名、石川県青少年育成推進指導員連絡会から芝田信栄会長、中村行也副会長、塩土修副会長の3名が研修に参加した。

○ 1日目

【シンポジウム 基調講演 要旨】

演題 「ひきこもり調査の結果の概要、ポイント」

講師 門田 光司 氏（久留米大学文学部 教授）

内閣府ではこれまでに平成21年度と27年度に、満15～39歳までを対象にひきこもりの実態調査を行った結果、ひきこもり状態になってから7年以上経つ者の割合が増加しており、ひきこもりの長期化傾向がうかがわれた。そこで、青少年期の生活がその後の生活に及ぼす影響を明らかにし、青少年の育成支援に係る諸施策の企画・立案に役立てるため、平成30年度に満40～64歳までの者を対象にひきこもりの実態調査を「生活状況に関する調査」として実施した。

その結果、①満40～64歳までのひきこもりの出現率は1.45%で、推計数は61.3万人であること、②ひきこもり状態になってから7年以上経過した方が約5割を占め、長期に及んでいる傾向が認められること、③専業主婦や家事手伝いのひきこもりも存在すること、④ひきこもり状態になった年齢が全年齢層に大きな偏りなく分布していること、などが明らかになった。

【シンポジウム パネル・ディスカッション】

テーマ 「ひきこもり調査結果から読み解くもの」

コーディネーター 門田 光司 氏（久留米大学文学部 教授）

シンポジスト 勝部 麗子 氏（社福法人 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長）

河野 久忠 氏（特非活 青少年自立援助センター 理事長）

近藤 直司 氏（特非活 大正大学心理社会学部臨床心理学科 教授）

渡辺 麻美 氏（東洋英和女学院大学人間科学部 准教授）

シンポジストの勝部氏は、いわゆる8050問題（ひきこもりの子どもが50歳代で親が80歳代）の事例を報告した。このひきこもりの方は小中学校から不登校気味で、単位制高校に入学するも中途退学し、医療機関や就職支援機関にも相談できないでひきこもりとなっていた。父親の息子への叱責がきっかけで息子が父親への暴力行為に及び、最悪の事態にもなりかねない状況であったが、コミュニティ・ソーシャルワーカーを中心に関係機関が働きかけ、家族会→家庭訪問→親子分離→息子の生活保護→就労支援につないだ事例であった。勝部氏はさらに、ひきこもり状態になった年齢は全年齢層に大きな偏り



なく分布しているものの、ひきこもり状態の長期化傾向がうかがわれることから、ひきこもりの予防のためには10歳代の不登校児童生徒に対する学校と関係機関との一層の連携が必要であると述べた。

また、近藤氏からは、地域の民生委員が聞き取り調査を行った約800件の事例において、40歳代にひきこもり期間10年以上のピークが見られ、その人たちの多くが就業経験を持っているとの報告があった。

ひきこもりの問題は、そのきっかけとなる要因が複雑で、ひきこもりになる年齢も全年齢層に及んでいるため、効果的な予防策を模索している段階である。しかし、その解消に向けた取組では、社会福祉協議会や精神保健センター等が個々の事案に対して粘り強く個別のアウトリーチを行い、着実に成果を上げていた。

○ 2日目

専門研修会として、①「SNSを用いた若者の相談支援」、②「地域における困難を有する若者への生活支援」、③「地域社会における少年の非行防止等に向けた取組」、④「高等学校内における居場所支援」の4部門が設定されていた。石川県青少年育成推進指導員連絡会の3名の参加者はそれぞれが2部門ずつを分担して4部門の研修会に参加した。

◇健民簡易グラウンドの利用予約について

令和2年度の健民簡易グラウンド（大桑、まめだ、湊）の利用について、大規模大会等開催の場合に限る年間予約の申し込みを受け付けております。

詳しくは、石川県健民運動推進本部事務局までお問い合わせください。

○申込期限 令和2年1月10日（金）期日厳守

○問合せ先 石川県健民運動推進本部 TEL 076-225-1366

申し込み用紙等は健民運動推進本部ホームページからダウンロードできます。

健民運動



QRコード

- ・年間予約要領（PDF）
- ・申し込み用紙（WORD）

◇ 1月の健民運動カレンダー

R1. 12. 9現在

1/18（土）	子どもの夢実現サポート事業「夢の実現地域発表会」 夢の内容：動橋町の伝統行事「ぐず焼きまつり」の動画を作成してYouTubeにアップしたい 会場：動橋町民会館 実行委員会：チーム・イブリー（加賀市） 共催：石川県健民運動推進本部
---------	--

「初めてのバードウォッチング」によようこそ！

バードウォッチング（探鳥会）に参加されたことはありますか？興味はあるけれど、やり方がわからないという方も多いのではないのでしょうか。もちろんご近所でスズメやカラスを見て観察するのもバードウォッチングですが、もう少し野鳥のことを知りたい！という初心者の方たちのために、日本野鳥の会石川では「初めてのバードウォッチング」を行っています。場所は健民海浜公園（普正寺の森）です。双眼鏡の貸出しも行なっています。

初めて参加された方が「チャッ チャッ」という鳥の声を聞き「なんの鳥？」と尋ねられることがよくあります。『答えはウグイスです。「ホーホケキョ」と鳴くのは春で、違う季節にはこんな地味な声で鳴きます。また、姿も地味で藪の中に入れて見つけにくい鳥ですよ』などと、リーダーが詳しく説明をします。別の場では、身近にいる二種類のカラスを観察して、声とクチバシの太さで二種の違いがわかることも説明しています。

このように探鳥会では初心者の方たちにわかりやすく野鳥の説明をしながら望遠鏡で鳥を大きく見てもらおうとします。野鳥の羽色や仕草に感動したり驚いたりする方も多いです。少人数のグループにリーダーが付き何でも話しやすい雰囲気を作っています。この「初めてのバードウォッチング」は、秋、冬、春に行っていますので、ぜひ興味のある方は参加してみてください。

その他、夏には、参加者が100人ほど集まる人気の「ツバメのねぐら入り観察会」も河北潟で実施しています。数万羽と言われるツバメが空一面に飛び周り、参加者のすぐ横を群れで横切ったり、急降下で葦原に飛び込むときの光景は全国でもトップクラスの壮観さです。「凄い！」、「感動した！」という声があちこちで聞かれます。

このように季節ごとの探鳥会も楽しんでいただけます。探鳥会のご案内は、日本野鳥の会石川のホームページをご参照下さい。**みなさまの参加をスタッフ一同、心待ちにしています。**



【初めてのバードウォッチング】



【ツバメのねぐら入り】

日本野鳥の会石川

<https://wbsjishikawa.jimdo.com/>





収集物（12月分）＜使用済み切手など＞

金沢市米泉公民館、石川県(地域振興課、空港企画課、県民交流課、水産課、監理課、道路建設課、消費生活支援センター、学校指導課)、匿名の方 計10件

ご協力ありがとうございました！

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じハガキにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

会議・ミーティング等にとどうぞ

「あいむ」の会議室をご利用ください

○会議室（20名程度・週2回まで）

プロジェクター、スクリーン、テレビ、Wi-Fi、ホワイトボード、DVD、BDプレイヤー等を無料で貸出しています！



ご利用の際は『**会議室利用申込書**』をご提出ください。

予約は利用日の3ヵ月前から受け付けます。

チラシや資料を印刷するならあいむの「作業室」で！

○輪転機 ○丁合機 ○紙折り機 ○裁断機 ○紙そろえ機

○大型ホッチキス・パンチ ・コピー機 ・パソコン ・プリンタ etc.

作業に便利な設備が揃っています！

石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階
TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559

<http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料無料）

- ・お問合せ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」まで
- 《9:00～22:00（土、日曜日は17:00まで、月曜日・祝日は休館）》
- ・香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県県民交流課内 健民運動推進本部

TEL 076-225-1366
FAX 076-225-1363

インターネット

E-mail

 twitter



健民運動

kenmin-i @pref.ishikawa.lg.j

kenmin_undou

Facebook @kenminundou



QRコード